

ニュース和歌山 2022年6月25日号の
「おしえて！マイドクターQ&A」に掲載。

Q

転倒して親指の第2関節を痛め、
病院で靭帯損傷と言われました。



社会医療法人三車会
公式キャラクター
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ
テーション病院

手・足の外科センター

整形外科専門医 手外科専門医

谷口 泰徳 副院長・センター長

A

転倒などによつて親指の第2関節の側方に強い衝撃が加わり、靭帯を損傷すると親指で物がつまめなくなります。このケガは、親指の第2関節は「MP関節」と呼ばれるので、母指MP関節靭帯損傷と診断されます。原因は転倒などの他にバスケットボールなどの競技中に親指が側方に強制され受傷します。突き指と自己判断してしまう患者さんが多いので、注意が必要です。症状は、親指の第2関節の疼痛、腫れです。靭帯が完全に断裂していると親指に横から力を加えると関節のぐらつきや痛みが強くなります。X線検査では、靭帯が

骨に付着していた部分がはがれ小さな骨片がみられます。特に異常がみられないことがあり、そのため病院でも靭帯損傷が見逃されることもあります。親指の横方向に力を加えたX線検査で関節の動揺性が確認でき、診断されます。治療は靭帯の不完全断裂では、アルミ副子で3〜4週間程度の外固定を行います。靭帯が完全断裂し不安定性が強い場合は、手術による靭帯修復が必要です。完全断裂に保存療法をした場合、関節の変形や不安定性などの後遺症が残ることがあります。早めに手外科専門医を受診し、治療についてご相談することをお勧めします。